

# 令和3年度 長崎県窯業技術センター研究成果発表会

● 開催日時:令和3年7月30日(金) 14:00~15:15

● 開催方法:オンライン開催 (Zoom 利用) PC、スマートフォン、タブレット等で視聴できます。  
オンライン視聴をお申し込みいただいた方に Eメールで視聴方法をご案内します。  
視聴する媒体をお持ちでない方は、窯業技術センター2階大会議室で、事前録画による映像を視聴できます。

● 研究成果発表(事前録画による公開) 質問は Eメール等で随時受付して回答します。

- ① 高齢者の生活特性に配慮した商品開発手法の構築 / 戦略・デザイン科 桐山有司  
既存の福祉食器等に対する高齢者の課題や要望を把握して、持ちやすさ、扱いやすさ等に配慮した一般食器の設えに近い高齢者向けの食器を開発しました。
- ② 製品のカラフル化に対応する釉薬の多色化技術の研究 / 陶磁器科 吉田英樹  
釉薬や焼成温度、焼成雰囲気など条件の異なる 1530 種の色釉試料を作製し、全ての色を数値化しました。これにより焼成条件に応じた発色予測や、多色化の効率化が図れます。
- ③ デジタル印刷技術を利用した転写紙作製技術に関する研究 / 陶磁器科 久田松学  
レーザープリンタを利用した転写紙の作製技術により、特に手描きでは手間が掛かる模様や多色模様、フルカラー模様など、低コストで迅速な見本づくりが可能になりました。
- ④ 3D プリンタを利用した陶磁器生地造形技術の開発 / 戦略・デザイン科 依田慎二  
陶土を材料として3D プリンタで造形するためのソフトウェアを開発して、造形の基礎技術を確立しました。本年度からは、この基礎技術を基に、高機能な陶磁器製品の造形技術に対応する技術確立を目指します。
- ⑤ 表面剥離型防汚材料に関する研究 / 環境・機能材料科 高松宏行  
無機系の県内未利用資源や窯業原料に生分解性高分子を複合化させることで、水中で表面が少しずつ剥離する機能をもつ塗料状の新規素材を開発しました。
- ⑥ 県内の無機材料を活用した抗菌・防カビ剤の開発 / 環境・機能材料科 山口典男  
抗菌成分である銀を効率的に無機原料に担持するために、各種金属捕捉剤と銀とを反応させ、大腸菌や黒麹黴に対する抗菌作用のある抗菌剤を開発しました。

お申し込み専用 QR コード

● 参加お申し込み:下記いずれかひとつの方法でお申し込みください。

① QR コード(推奨): 右 QR コードをスマートフォン等で読み込んで入力してください。

② PC アドレス:下記アドレスから必要事項を入力してください。

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000P00004800aMR>

③ Eメール:下記アドレス宛に企業名、氏名、参加方法、Eメールアドレスをご記入ください。  
s05510@pref.nagasaki.lg.jp

④ FAX:下欄記入のうえ7月26日(月)まで0956-85-6872(長崎県窯業技術センター)に送付してください。



企業名	参加者氏名	参加方法	Eメールアドレス
		<input type="checkbox"/> オンライン視聴 <input type="checkbox"/> 大会議室で視聴	
		<input type="checkbox"/> オンライン視聴 <input type="checkbox"/> 大会議室で視聴	